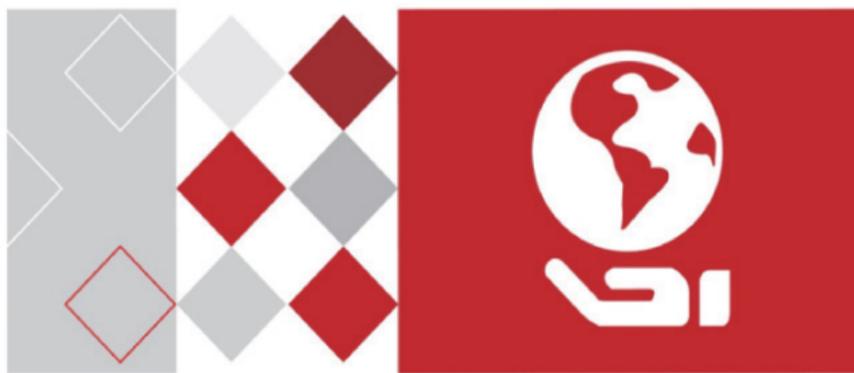


**HIKVISION**



# ネットワークドームカメラ

クイックスタートガイド

UD04369B-A

## クイックスタートガイド

COPYRIGHT ©2017 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

### 無断複写転載等の禁止。

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社（以下、「Hikvision」とする）の所有するものとします。本ユーザーマニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。特に規定されていない限り、Hikvision は明示の有無によらず本マニュアルに関しての補償はおこないません。

### 本マニュアルについて

本マニュアルは、21xx ネットワークカメラに適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。当社ウェブサイトで最新版を参照してください。

[\(http://overseas.hikvision.com/en/\)](http://overseas.hikvision.com/en/).

専門の技術者の指導の下で本ユーザーマニュアルをご利用ください。

### 商標に関する確認

**HIKVISION** およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、様々な裁判管轄地域においても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

### 法的免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる不具合やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示の有無によらず一切の保証 (性能、品質、特定の目的に対する適合性および第三者の権利非侵害を含みますが、これらに限定しない) を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、たとえ HIKVISION がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するように利用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

### 規制情報

Wi-Fi または携帯データをサポートする製品の場合：

(製品モデルのパート C には「W」、「GLT」、「GLE」、「GLF」、「GE」、「GT」、または「GW」のマークが付いています。

製品モデルの例：パート A-パート B-パート C。パート C はオプションです。)

### FCC 情報

規制順守担当筋より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本装置を操作するユーザの権利が無効になることがあります。

**FCC 準拠:**本装置は連邦通信委員会 (FCC) 規則第 15 条の基準に基づくクラス B デジタル機器です。これらの制限は住宅への設置における有害な干渉に対して妥当なレベルの防護を提供するためのものです。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置状況において干渉が発生しないことを保証するものではありません。もしこの機器がラジオやテレビの受信状態に有害な干渉を引き起こす場合(機器の電源をオンにしたりオフにすることで確認できます)、ユーザは以下の手段の一つまたはそれ以上を適用することでそれに対応することが推奨されます。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 機器と受信機の距離を大きくとる。
- 機器を受信器が接続されているものとは違う系統のコンセントに接続する。
- 支援が必要な場合、販売店または経験を積んだラジオ/TV の技術者に相談してください。

本装置は、ラジエーターや身体から 20cm 以上の距離を置いて設置して操作してください。

### FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだあらゆる干渉受信を受容しなければならない。

### EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE” のマークが付いており、無線機器指令 2014/53/EU、EMC 指令 2014/30/EU、RoHS 指令 2011/65/EU に規定されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令):この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。  
[www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)



2006/66/EC (バッテリー指令):本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。

[www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)

### カナダ産業省 ICES-003 準拠

本デバイスは CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)の規格要件を満たしています。

本デバイスは、カナダ産業省ライセンス免除 RSS 標準に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

- (1) このデバイスは干渉を引き起こす可能性がありません。
- (2) このデバイスは、デバイスの望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだあらゆる干渉を受容しなければなりません。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radioexempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

## ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

カナダ産業省の規制により、この無線送信機は、カナダ産業省が承認した種類および最大（あるいはそれ以下の）ゲインの送信機アンテナのみを使用して動作することができます。他のユーザへの潜在的な電波干渉を減らすために、等価等方放射電力（EIRP）が正常通信に必要な電力を超えないようにアンテナの種類とゲインを選択しなければなりません。

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

本装置は、ラジエーターや身体から 20cm 以上の距離を置いて設置して操作してください。

Cet équipement doit être installé et utilisé à une distance minimale de 20 cm entre le radiateur et votre corps.

Wi-Fi または携帯データをサポートしない製品の場合：

### **FCC 情報**

規制順守担当筋より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本装置を操作するユーザの権利が無効になることがあります。

FCC 準拠:本装置は連邦通信委員会 (FCC) 規則第 15 条の基準に基づくクラス B デジタル機器です。これらの制限は住宅への設置における有害な干渉に対して妥当なレベルの防護を提供

するためのものです。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置状況において干渉が発生しないことを保証するものではありません。もしこの機器がラジオやテレビの受信状態に有害な干渉を引き起こす場合(機器の電源をオンにしたりオフにすることで確認できます)、ユーザは以下の手段の一つまたはそれ以上を適用することでそれに対応することが推奨されます。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 機器と受信機の距離を大きくとる。
- 機器を受信器が接続されているものとは違う系統のコンセントに接続する。
- 支援が必要な場合、販売店または経験を積んだラジオ／TVの技術者に相談してください。

### FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだあらゆる干渉受信を受容しなければならない。

## EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE” のマークが付いており、EMC 指令 2014/30/EU、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令):この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。  
[www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)



2006/66/EC (バッテリー指令):本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。  
[www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)

## カナダ産業省 ICES-003 準拠

本デバイスは CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)の規格要件を満たしています。

## 安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。

使用上の注意の基準は、「警告」と「注意」に分かれています。

**警告:**この警告を無視した場合、重傷を負ったり死亡する可能性があります。

**注意:**この注意を無視した場合、ケガをしたり、装置が破損する可能性があります。

	
<p><b>警告</b> 重傷や死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってください。</p>	<p><b>注意</b> ケガや物損の可能性を抑えるために、これらの注意に従ってください。</p>



### 警告

- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安全性に関する法令に厳密にしたがう必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV（安全超低電圧）および 12 VDC の有限電源を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや火災の危険性があるため、1 つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しないでください。

## ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていることを確認してください。製品が壁または天井に設置される場合、機器をしっかりと固定する必要があります。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。
- すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/またはエンドユーザーの責任です。



### 注意

- カメラを使用する前に電源供給電圧が適正であることを確認してください。
- カメラを落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- センサーモジュールを指でさわらないでください。清掃が必要な場合、清潔な布に少量のエタノールをつけ、やさしく拭いてください。カメラを長期間使用しない場合、レンズキャップを装着し、センサー部をほこりから防護してください。
- 太陽や極めて明るい場所にカメラを向けないでください。焦点ボケや不鮮明化が起こる可能性があります(動作不良ではありません)、またセンサーの寿命に影響する可能性があります。
- センサーはレーザー光線によって焼き付く可能性があるため、レーザー装置を利用する場合には、センサーの表面

がレーザー光線にさらされることのないようにしてください。

- カメラを極度の高温や低温(動作温度は-30°Cから+60°Cまで)、ほこりっぽい場所や湿った場所に設置しないでください。また、高出力電磁波にさらさないようにしてください。
- 熱がこもらないように、動作環境には適切な換気が必要です。
- 使用中はカメラを液体から遠ざけてください。
- 搬送する場合、カメラは元々の梱包材か、同等のもので梱包してください。
- 定期的な部品の交換: 装置のいくつかのパーツ(たとえば電解コンデンサ)についてはパーツの平均耐久時間に応じて、定期的に交換してください。動作環境と利用状況によって平均耐用時間は変わりますので、定期的な点検をすべてのユーザーにおすすめします。詳細については販売店に確認してください。
- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性があります。同一または同等のタイプのものと同様に交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示にしたがって、使用済みバッテリーを処分してください。
- 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。カメラを決して自分自身で分解しようとししないでください。(承認されていない修理や保守行為による問題について、当社はいかなる責任も負いません。)

0504051070119

## 目次

<b>1 外見の説明</b> .....	<b>13</b>
1.1 I 型 .....	13
1.2 II 型 .....	14
1.3 III 型 .....	16
1.4 IV 型 .....	18
<b>2 取付</b> .....	<b>20</b>
2.1 メモリカードの取付 .....	21
2.2 天井マウント .....	22
2.3 取付金具によるマウント .....	27
2.4 ネットワークケーブル防水ジャケットの取り付け (オプション).....	39
<b>3 LAN 経由のネットワークカメラの設定</b> .....	<b>42</b>
3.1 配線 .....	42
3.2 カメラのアクティベート .....	43
3.3 IP アドレスの変更.....	47
<b>4 Web ブラウザ経由のアクセス</b> .....	<b>50</b>
<b>5 Hik-Connect アプリ経由の操作</b> .....	<b>53</b>
5.1 カメラの Hik-Connect サービス有効化.....	53
5.2 Hik-Connect 設定 .....	56
5.3 カメラの Hik-Connect への追加.....	57
5.4 メモリ カードの初期化 .....	59

## 1 外見の説明

本シリーズのカメラには3種類の外見があり、モデルごとに異なります。

### 1.1 I 型

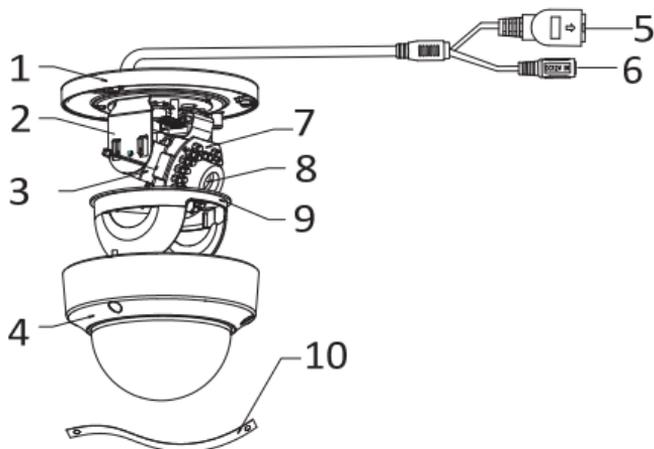


図 1-1I 型カメラの概要

表 1-1I カメラの種別の説明

番号	説明	番号	説明
1	マウントベース	2	水平スタンド
3	垂直スタンド	4	球形カバー

番号	説明	番号	説明
5	ネットワークインターフェイス	6	電源インターフェイス
7	赤外線 LED	8	レンズ
9	黒色ライナー	10	安全ロープ

**注意:**

カメラの電源がオンの状態またはリブート中にRESETを10秒間押すと、ユーザ名、パスワード、IPアドレス、ポート番号などを含む設定を初期化することができます。

**1.2 II 型**

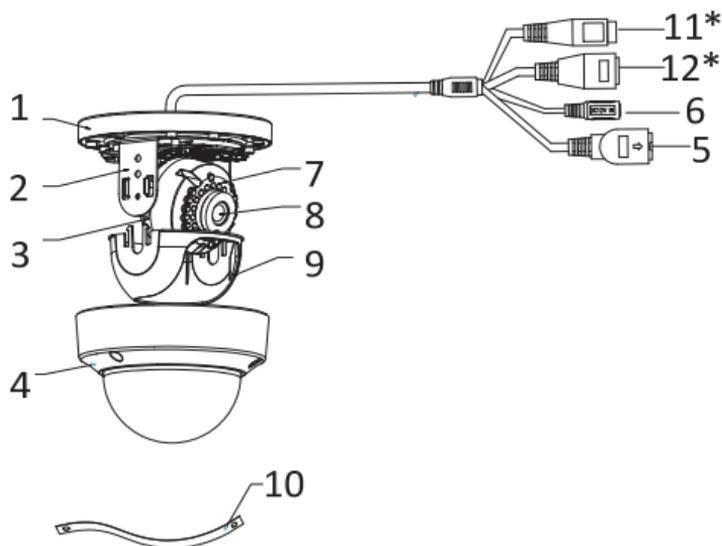


図 1-2 II 型カメラの概要

表 1-2 II カメラの種別の説明

番号	説明	番号	説明
1	マウントベース	2	水平スタンド
3	垂直スタンド	4	球形カバー
5	ネットワークインターフェイス	6	電源インターフェイス
7	赤外線 LED	8	レンズ
9	黒色ライナー	10	安全ロープ
11*	オーディオインターフェイス（「S」のマークが付いているカメラモデルでのみサポートされます）	12*	アラームインターフェイス（「S」のマークが付いているカメラモデルでのみサポートされます）

**注意:**

- 「\*」のマークが付いている項目は、特定のカメラモデルでのみサポートされています。
- カメラの電源がオンの状態またはリポート中に RESET を 10 秒間押すと、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などを含む設定を初期化することができます。

### 1.3 III 型

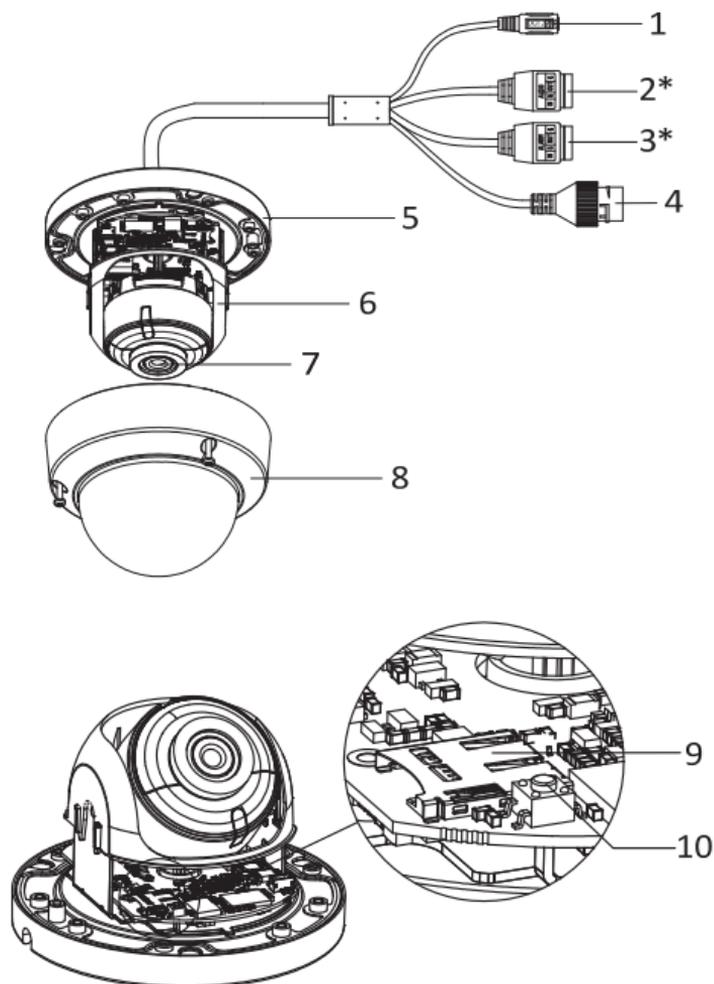


図 1-3 III 型カメラの概要

表 1-3 III 型カメラの説明

番号	説明
1	電源インターフェイス (12 VDC)
2*	オーディオ入出カインターフェイス
3*	アラーム入出カインターフェイス
4	RJ45 自己適応形ネットワークインターフェイス (PoE)
5	マウントベース
6	黒色ライナー
7	レンズ
8	球形カバー
9	メモ리카ードスロット
10	リセットボタン

**注意:**

- 「\*」のマークが付いている項目は、特定のカメラモデルでのみサポートされています。
- カメラの電源がオンの状態またはリポート中に RESET を 10 秒間押し、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などを含む設定を初期化することができます。

## 1.4 IV 型

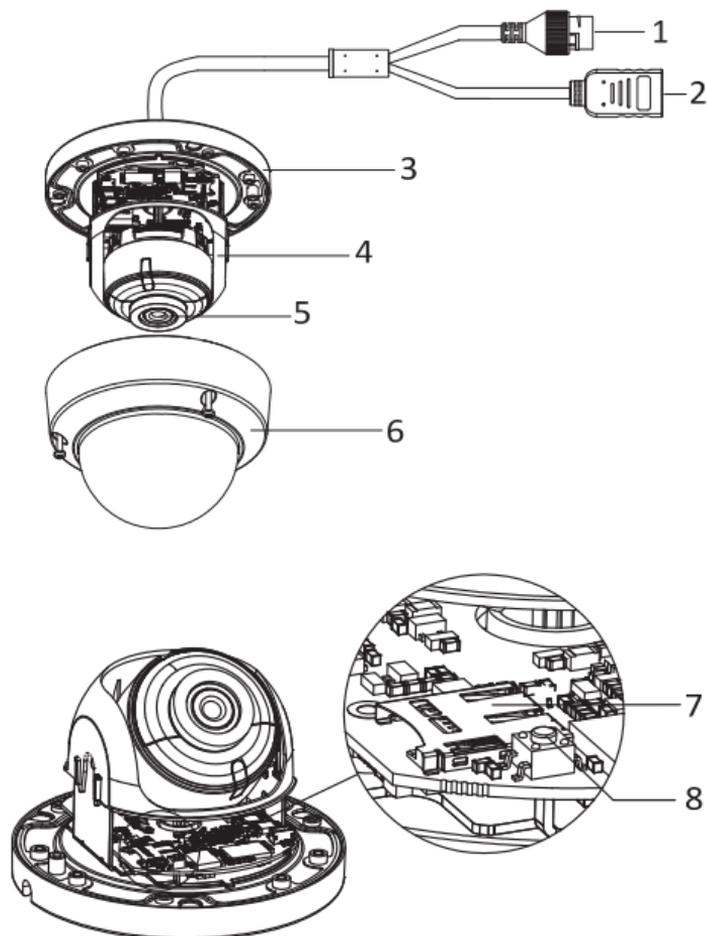


図 1-4 IV 型カメラの概要

表 1-4 IV カメラの種別の説明

番号	説明
1	RJ45 自己適応形ネットワークインターフェイス (PoE をサポート)
2	HDMI
3	マウントベース
4	黒色ライナー
5	レンズ
6	球形カバー
7	メモ리카ードスロット
8	リセットボタン

**注意:**

カメラの電源がオンの状態またはリブート中に RESET を 10 秒間押すと、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などを含む設定を初期化することができます。

## 2 取付

### 始める前に:

- パッケージの中の機器の状態に問題がなく、すべての組立部品が含まれていることを確認してください。
- 標準の電源は 12 VDC または PoE (802.3 AF) です。供給電源がカメラと一致していることを確認してください。
- 設置作業中はすべての関連装置の電源がオフになっていることを確認します。
- 設置環境に関連する製品の仕様をチェックしてください。
- 壁面が、カメラと取付金具の重量の 4 倍の重量に耐えられる十分な強度を持っていることを確認してください。

赤外線をサポートするカメラについては、赤外線の反射を防ぐために、以下の注意事項に留意する必要があります:

- ドームカバーに付着したほこりや油は赤外線の反射を引き起こします。ドームカバーのフィルムは、設置が完了するまではがさないでください。ドーム カバーにほこりや油が付着した場合、柔らかく清潔な布とイソプロピル アルコールでドーム カバーを清掃してください。
- カメラのレンズのすぐそばに反射面がないことを確認してください。カメラからの赤外線光がレンズに反射される可能性があります。
- レンズの周りのフォーム リングは円蓋の内面と面一に保ち、レンズが赤外線 LED から隔離されるようにしてください。ドームカバーはフォームリングと継ぎ目なく繋がるようにカメラ本体に固定してください。

## 2.1 メモリカードの取付

ローカルストレージとしてメモリカードをサポートするカメラモデルの場合は、メモリカードの挿入および取り出し手順に従うことができます。

このシリーズのカメラは構造が同じであり、実物説明にはⅢ型カメラが使用されます。

### 手順:

1. 球形カバーのネジを緩めます。メモリカードスロット全体が現れるまで球形カバーを取り外します。

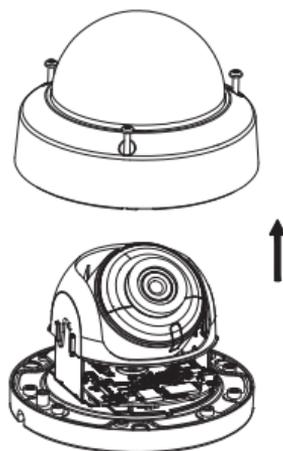


図 2-1 球形カバーの取り外し

### 注意:

- 紛失を防ぐため、球形カバーのネジは、完全に緩めても抜けないようになっています。

- 球形カバーは安全ロープによってカメラに固定されています。
2. メモリカードスロットを見つけてメモリカードを挿入します。

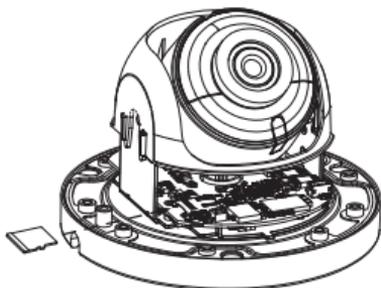


図 2-2 メモリカードを挿入

3. (オプション) メモリカードを取り出すには、再度押し込んで引き出してください。

## 2.2 天井マウント

このシリーズのカメラは構造が同じであり、実物説明には III 型カメラが使用されます。

### 手順:

1. 希望の取付位置にドリルテンプレートを貼り付けます。
2. ドリル テンプレートに合わせて、ドリルで天井にネジ穴を開けてください。

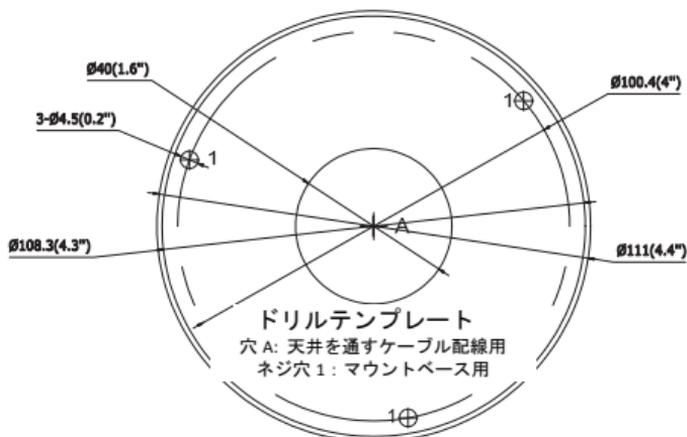


図 2-3 ドリルテンプレート

**注意:**

- 天井を通してケーブルを配線する場合は、ドリルテンプレートの穴 A に合わせてケーブルの穴を開けてください。
- また側面開口部からケーブルを配線することもできます。
- 屋外にカメラを設置する場合は、ネットワークケーブルに防水ジャケットを取り付けてください。2.4 節を参照してください。

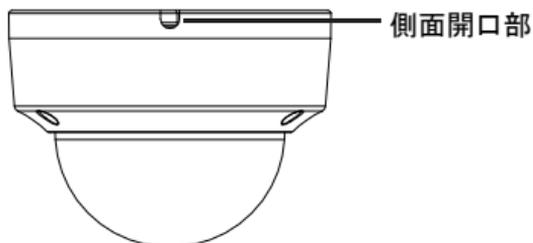


図 2-4 側面開口部

3. ケーブルを配線し、マウントベースを3本のネジで天井に固定します。

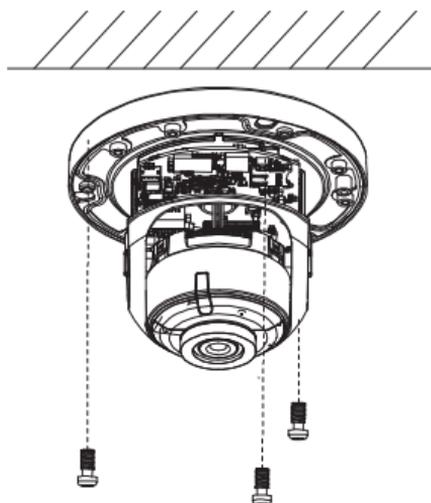


図 2-5 マウントベースの固定

4. 監視角度を調整します。詳細な角度調整範囲については、各カメラ型の図を参照してください
  - 1). 1本のチルト調整ネジを緩め、チルト位置を調整します。調整後、ネジを締めます。
  - 2). 黒色ライナーを保持して、パン位置を調整します。
  - 3). レンズを保持して、回転位置を調整します。

**注意:**

I型カメラでは回転位置を調整できません。

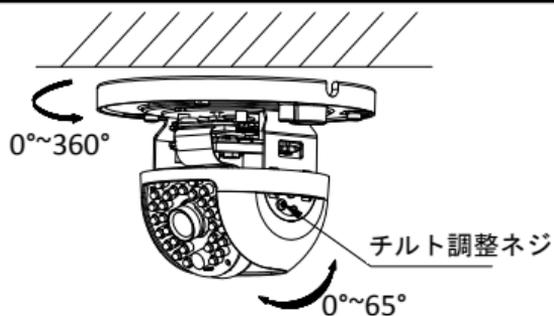


図 2-61 型カメラの角度調整

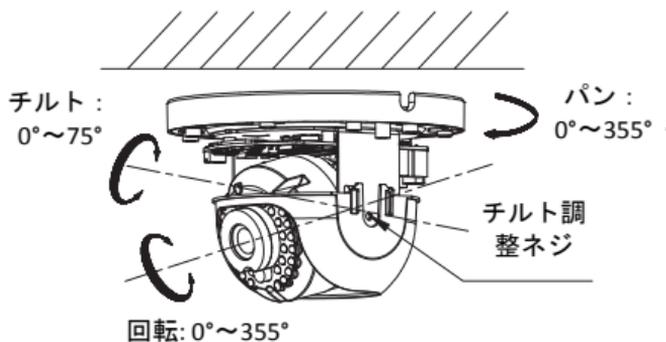


図 2-7II 型カメラの角度調整

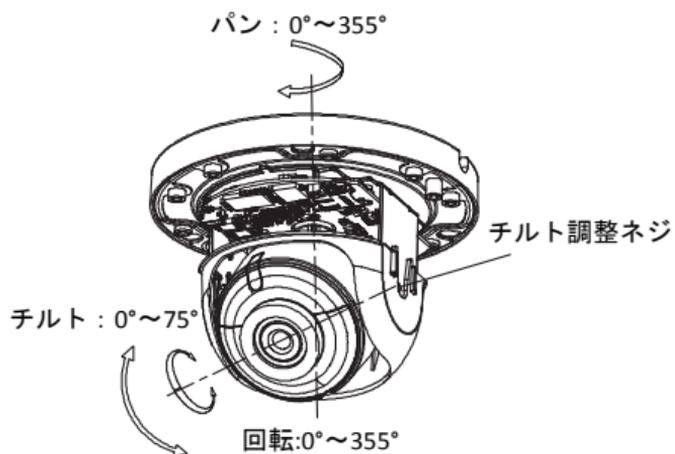


図 2-8 III 型カメラの角度調整

5. 球形カバーを元通りカメラに取り付けます。

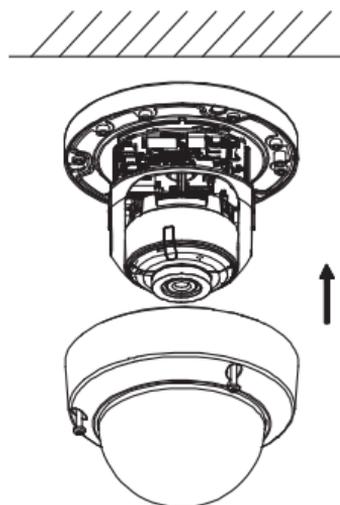


図 2-9 球形カバーの取り付け

## 2.3 取付金具によるマウント

このシリーズのカメラは、壁面マウント取付金具、吊り下げマウント取付金具、および傾斜マウント取付金具を使用して取り付けることができます。ここでは、Ⅲ型カメラを例として説明します。

### 2.3.1 壁面マウント

壁面マウント取付金具はパッケージに含まれていません。このマウントタイプを採用する場合、壁面マウント取付金具を購入してください。

#### 手順:

1. 希望の取付位置のネジ穴をマークします。

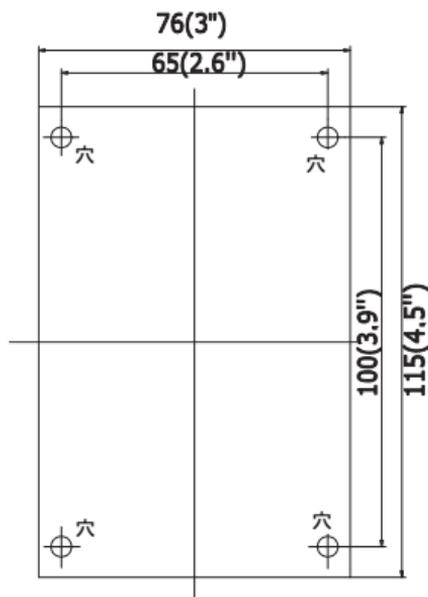


図 2-10 ネジ穴をマーク

- 4つの拡張ネジ用ネジ穴をドリルで開けます。
- 球形カバーのネジを抜きます。
- (オプション) カメラがメモリーカードの取り付けに対応している場合は、カメラにメモリーカードを挿入します。2.1節を参照してください。
- ケーブルを配線し、同梱されている3本のセルフタッピングネジでカメラを壁面マウント取付金具のキャップに固定します。

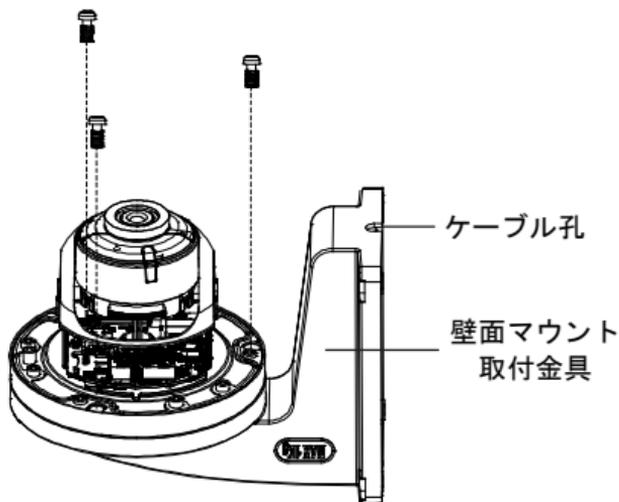


図 2-11 壁面マウント取付金具へのカメラ固定

- 壁面マウント取付金具をネジ穴に合わせ、壁に固定します。

**注意:**

屋外にカメラを設置する場合は、ネットワークケーブルに防水ジャケットを取り付けてください。2.4節を参照してください

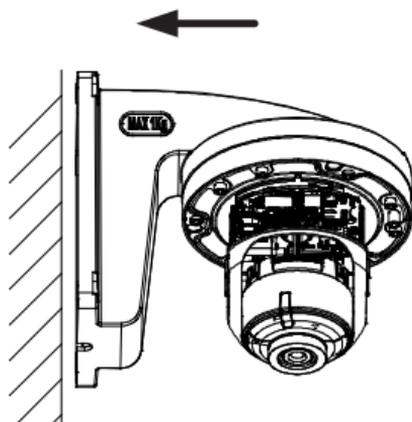


図 2-12 壁面マウント取付金具を壁に固定

7. カメラの監視角度を調整します。セクション 2.2 のステップ 4 を参照してください。
8. 球形カバーを元通りカメラに取り付けます。

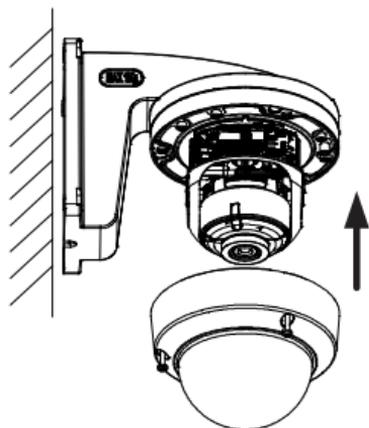


図 2-13 球形カバーの取り付け

### 2.3.2 ジャンクションボックスによる壁面マウント

ジャンクションボックスのある壁面マウント取付金具はパッケージに含まれていません。このマウントタイプを採用する場合、壁面マウント取付金具を購入してください。

#### 手順:

1. 希望の取付位置のネジ穴をマークします。
2. 4本の拡張ボルトで壁面に取付金具を固定します。

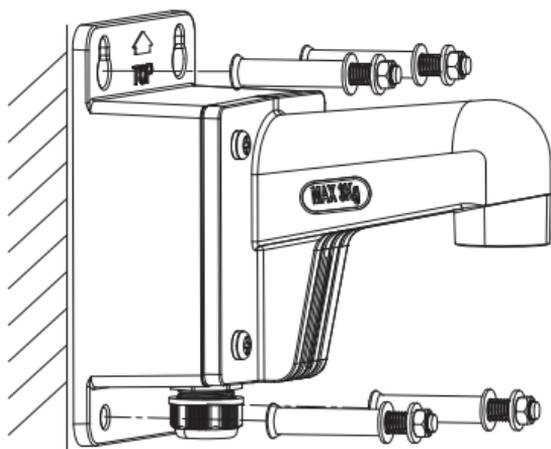


図 2-14 取付金具の固定

3. ジャンクションボックスカバーのネジを抜きます。

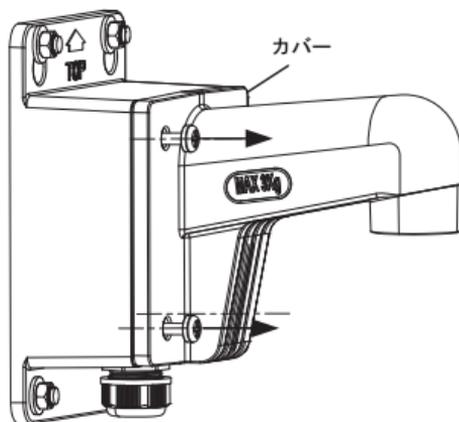


図 2-15 カバーのネジを抜く

4. ケーブルを配線して接続します。

ネットワーク、電源などのソースケーブルは、ジャンクションボックスの側面開口部から挿入します。カメラケーブルは、キャップと取付金具から挿入します。

**注意:**

屋外にカメラを設置する場合は、ネットワークケーブルに防水ジャケットを取り付けてください。2.4 節を参照してください

5. カバーを再度ネジで固定します。

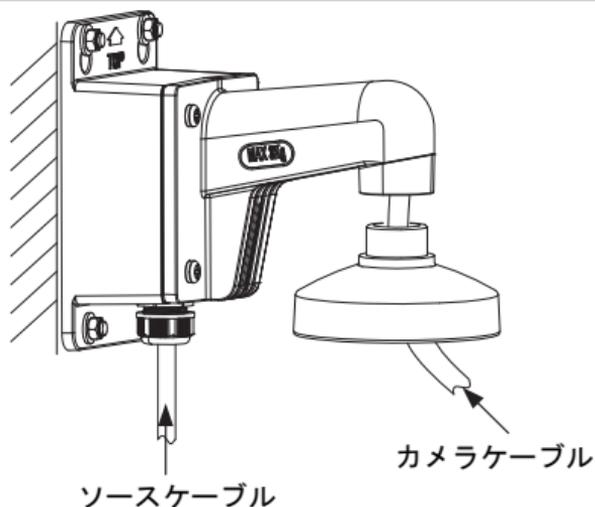


図 2-16 ケーブルの配線

6. 球形カバーのネジを抜きます。
7. (オプション) カメラがメモリーカードの取り付けに対応している場合は、カメラにメモリーカードを挿入します。2.1 節を参照してください。
8. 同梱されている 3 本のセルフタッピングネジで、カメラを壁面マウント取付金具のキャップに固定します。

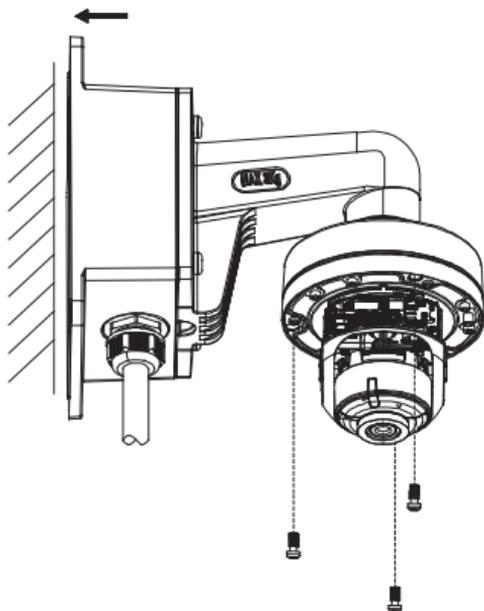


図 2-17 壁面マウント取付金具へのカメラ固定

9. カメラの監視角度を調整します。セクション 2.2 のステップ 4 を参照してください。
10. 球形カバーを元通りカメラに取り付けます。

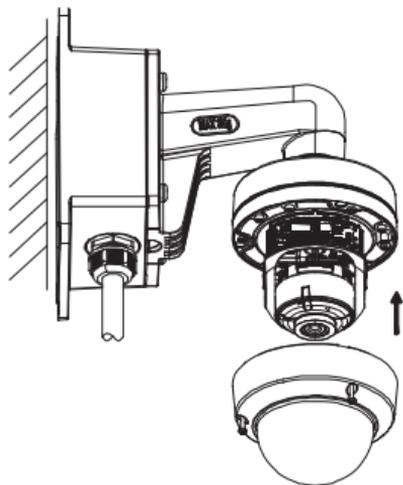


図 2-18 球形カバーの取り付け

### 2.3.3 吊り下げマウント

吊り下げマウント取付金具はパッケージに含まれていません。このマウントタイプを採用する場合、事前に吊り下げマウント取付金具を購入してください。

**手順:**

1. 希望の取付位置のネジ穴をマークします。
2. 3つの拡張ボルト用ネジ穴をドリルで開けます。
3. ケーブルを配線し、吊り下げマウント取付金具を天井に固定します。

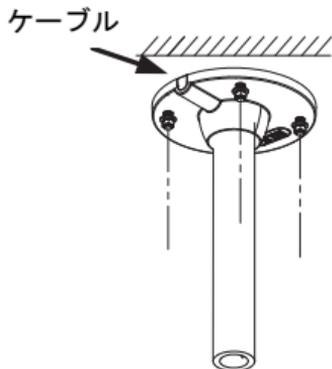


図 2-19 吊り下げマウント取付金具の固定

4. (オプション) カメラがメモリーカードの取り付けに対応している場合は、カメラにメモリーカードを挿入します。2.1 節を参照してください。
5. 同梱されている3本のセルフタッピングネジで、カメラを吊り下げマウント取付金具のキャップに固定します。

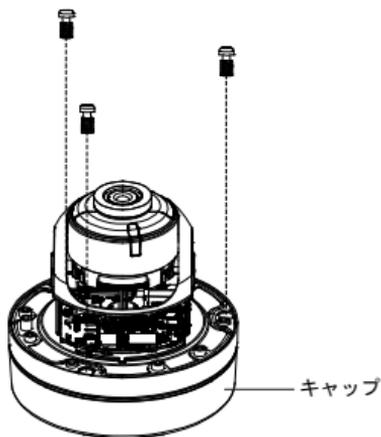


図 2-20 カメラをキャップに固定

6. キャップのネジを締めて吊り下げマウント取付金具に取り付けます。

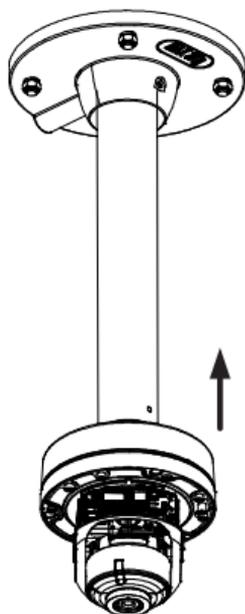


図 2-21 キャップの取り付け

7. カメラの監視角度を調整します。セクション 2.2 のステップ 4 を参照してください。
8. 球形カバーを元通りカメラに取り付けます。

### 2.3.4 傾斜マウント

傾斜マウント取付金具はパッケージに含まれていません。このマウントタイプを採用する場合、壁面マウント取付金具を購入してください。

手順:

1. 希望の取付位置にドリルテンプレートを貼り付けます。

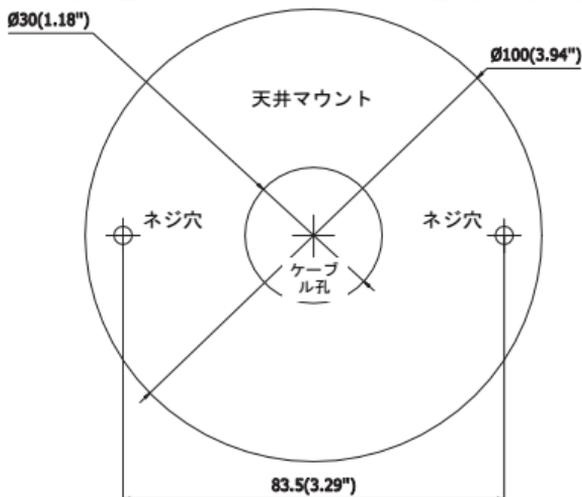


図 2-22 ドリルテンプレート

2. テンプレートにしたがって、ドリルで拡張ネジ用ネジ穴とケーブル穴を開けます。
3. 傾斜マウント取付金具を天井に固定します。

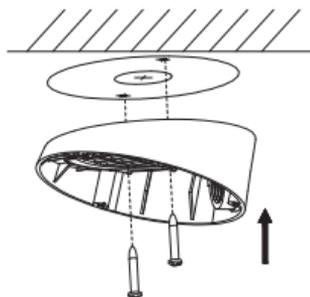


図 2-23 傾斜マウント取付金具を壁に固定

4. 球形カバーのネジを抜きます。

5. (オプション) カメラがメモリーカードの取り付けに対応している場合は、カメラにメモリーカードを挿入します。2.1 節を参照してください。
6. ケーブルを配線し、同梱されている 3 本のセルフタッピンググネジでカメラを傾斜マウント取付金具に固定します。

**注意:**

屋外にカメラを設置する場合は、ネットワークケーブルに防水ジャケットを取り付けてください。2.4 節を参照してください

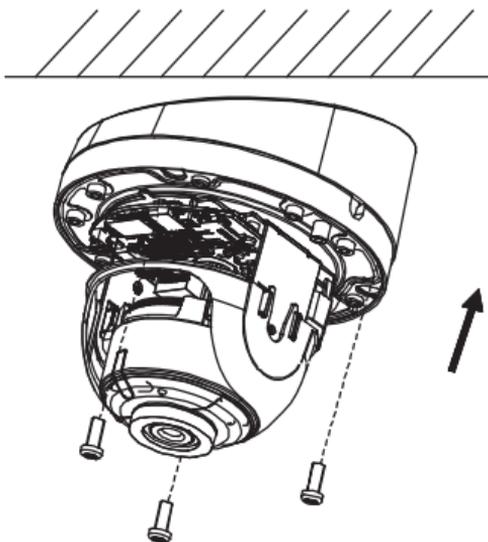


図 2-24 壁面マウント取付金具へのカメラ固定

7. カメラの監視角度を調整します。セクション 2.2 のステップ 4 を参照してください。
8. 球形カバーを元通りカメラに取り付けます。

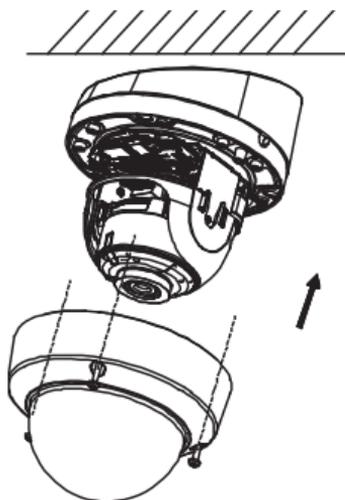


図 2-25 球形カバーの取り付け

## 2.4 ネットワークケーブル防水ジャケットの 取り付け (オプション)

### 目的:

カメラを屋外に設置する場合、カメラを設置面に固定した後で、ネットワークケーブル用の防水アクセサリを適用することができます。

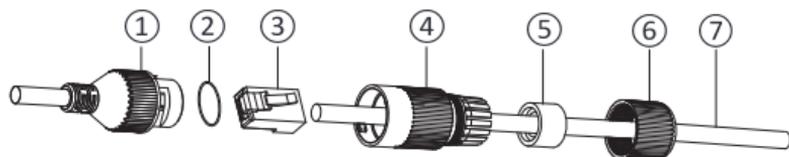


図 2-26 防水アクセサリコンポーネント

表 2-1 コンポーネント

番号	コンポーネント
1	カメラのネットワークインターフェイス ソケット
2	O型ガスケット
3	ネットワークプラグ
4	防水エンドキャップ
5	防水ラバーガスケット
6	ロックナット
7	ルータ/スイッチからのネットワークケー ブル

**手順:**

1. プラグなしネットワークケーブル⑦をロックナット⑥、防水ラバーガスケット⑤（ラバーガスケットのはめ込み突起が防水エンドキャップ側を向いていること）、防水エンドキャップ④の順に通していきます。
2. ツイストペアケーブルを正しい順番で差し込み、RJ-45 ネットワークプラグ③ をケーブルの端に取り付けます。
3. O型ガスケット② をカメラのネットワークインターフェイスソケット①の端に取り付けます。
4. ネットワークプラグ③ をカメラのネットワークインターフェイスソケット①に挿入します。

## ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

5. 防水ラバーガasket⑤を防水エンドキャップ④に挿入し、ロックナット⑥を防水エンドキャップ④に取り付けます。
6. 防水エンドキャップ④の留め金をカメラのネットワークインターフェイスソケット①の切れ込みに合わせ、防水エンドキャップ④をカメラのネットワークインターフェイスソケット①に固定して、取付は終了です。

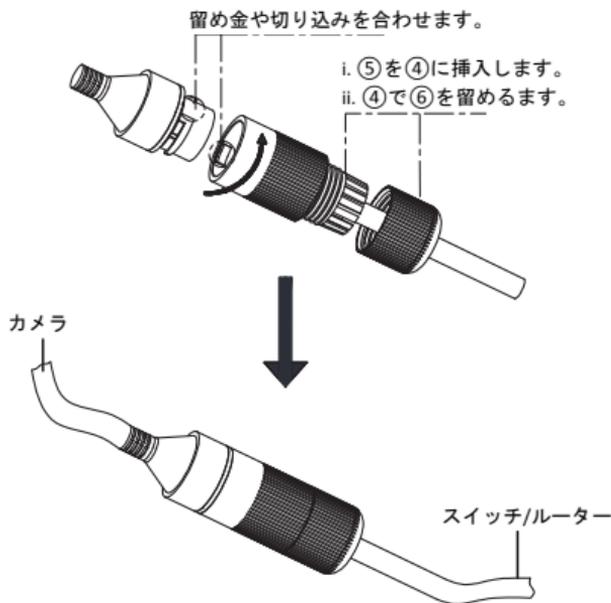


図 2-27 防水アクセサリーの取り付け

## 3 LAN 経由のネットワークカメラの設定

### 注意:

インターネットアクセスを通じて製品を使用した場合と、ネットワークのセキュリティリスクがあることを承諾すると見なされます。ネットワーク攻撃や情報漏えいを回避するには、ご自身の保護対策を強化してください。

製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。

### 3.1 配線

以下の図にしたがってカメラをネットワークに接続します。

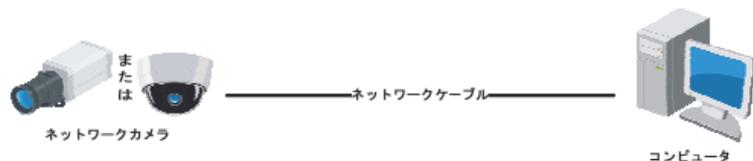


図 3-1 直接接続

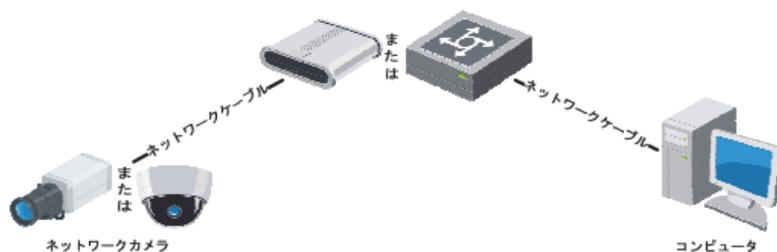


図 3-2 スイッチまたはルータ経由の接続

## 3.2 カメラのアクティベート

カメラの使いはじめる前に、まず強力なパスワードを設定してカメラをアクティベートする必要があります。

Web ブラウザ経由のアクティベート、SADP 経由のアクティベート、そしてクライアントソフトウェア経由のアクティベートのすべてに対応しています。SADP ソフトウェアおよび Web ブラウザ経由のアクティベーションを例にカメラのアクティベーションを説明します。

### 注意:

クライアントソフトウェア経由のアクティベーションについてはネットワークカメラのユーザマニュアルを参照してください。

### 3.2.1 Web ブラウザ経由のアクティベーション

#### 手順:

1. カメラの電源をオンにします。カメラをお使いのコンピュータまたはコンピュータが接続されているスイッチ/ルータに接続します。
2. Web ブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力し、[エンター] キーを押してアクティベーションインターフェイスに入ります。

#### 注意:

- カメラのデフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。
- コンピュータとカメラは、同じサブネットに属している必要があります。

## ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

- DHCP がデフォルトで有効化されているカメラの場合、SADP ソフトウェアを利用して IP アドレスを検索する必要があります。



図 3-3 アクティベーションインターフェイス (Web)

3. 新しくパスワードを作り、パスワードフィールドに入力します。



**強力なパスワードの推奨** – お使いの製品のセキュリティ向上のため、自分自身で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. パスワードを確認します。
5. [OK] をクリックしてパスワードを保存し、ライブビューインターフェイスに進みます。

### 3.2.2 SADP ソフトウェア経由のアクティベーション

SADP ソフトウェアはオンラインデバイスの検知、カメラのアクティベート、およびパスワードのリセットに利用します。

SADP ソフトウェアを付属のディスクまたは公式の Web サイトから入手し、プロンプトにしたがって SADP をインストールします。

ステップにしたがい、カメラをアクティベートします。

#### 手順:

1. SADP ソフトウェアを実行し、オンラインデバイスを検索します。
2. デバイスリストからデバイスステータスをチェックし、非アクティブ状態のデバイスを選択します。

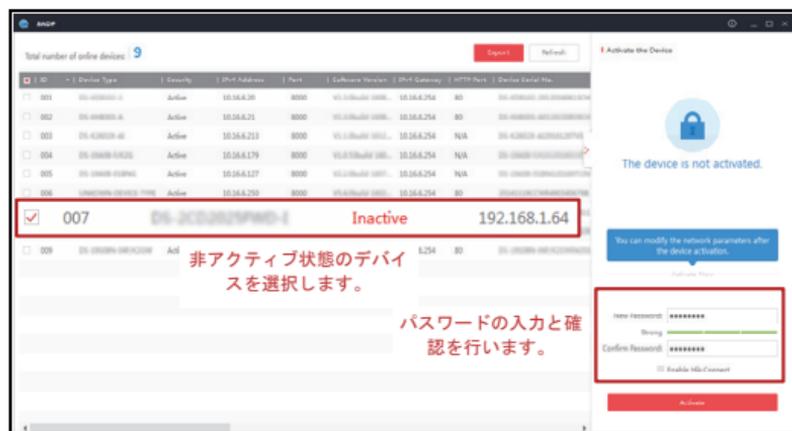


図 3-4 SADP インターフェイス

### 注意:

SADP ソフトウェアはカメラの一括アクティベートをサポートしています。詳細については SADP ソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

3. パスワードフィールドに新たなパスワードを入力して、パスワードを確認します。



**強力なパスワードの推奨** – お使いの製品のセキュリティ向上のため、自分自身で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

### 注意:

アクティベーション中に、デバイスに対して Hik-Connect サービスを有効化することができます。詳細については 5.1 章を参照してください。

4. **[アクティベート]**をクリックしてアクティベーションを開始します。

ポップアップウィンドウからアクティベーションが完了したかを確認することができます。アクティベーションが失敗した場合、パスワードが要件に適合していることを確認して再試行してください。

### 3.3 IP アドレスの変更

#### 目的:

カメラを LAN (ローカルエリアネットワーク) 経由で閲覧、設定するためには、ネットワークカメラをお使いの PC と同じサブネットに接続する必要があります。

SADP ソフトウェアもしくはクライアントソフトウェアをインストールし、デバイスの IP を検索して変更します。ここでは、SADP ソフトウェア経由での IP アドレス変更を例に取り上げて、IP アドレス変更の説明いたします。

クライアントソフトウェア経由で IP アドレスを変更する場合は、クライアントソフトウェアのユーザマニュアルを参照してください。

#### 手順:

1. SADP ソフトウェアを実行します。
2. アクティブデバイスを選択します。
3. デバイスの IP アドレスをお使いのコンピューターと同じサブネットにするには、IP アドレスを手動で変更するか、[DHCP を有効化する] のチェックボックスをチェックしてください。

**Modify Network Parameters**

Enable DHCP  
 Enable Hik-Connect

Device Serial No.:

IP Address:

Port:

Subnet Mask:

Gateway:

IPv6 Address:

IPv6 Gateway:

IPv6 Prefix Length:

HTTP Port:

---

Security Verification

Admin Password:

Modify

[Forgot Password](#)

図 3-5 IP アドレスの変更

**注意:**

アクティベーション中に、デバイスに対して Hik-Connect サービスを有効化することができます。詳細については 5.1 章を参照してください。

4. 管理者パスワードを入力して **[変更]** をクリックし、IP アドレスの変更を有効化してください。

## ネットワークドームカメラ・クイックスタートガイド

---

SADP ではバッチ IP アドレス変更がサポートされています。詳細については SADP のユーザマニュアルを参照してください。

## 4 Web ブラウザ経由のアクセス

---

### システム要件：

オペレーティング システム:Microsoft Windows XP SP1 またはそれ以上

CPU:2.0 GHz またはそれ以上

RAM:1G またはそれ以上

ディスプレイ:解像度 1024×768 またはそれ以上

Web ブラウザ:Internet Explorer 8.0 以降のバージョン、Apple Safari 5.0.2 以降のバージョン、Mozilla Firefox 5.0 以降のバージョンおよび Google Chrome 18 以降のバージョン

### 手順:

1. Web ブラウザを開きます。
2. ブラウザのアドレスバーにネットワークカメラの IP アドレスを入力し、[エンター] キーを押してログインインターフェイスに入ります。

#### 注意:

- デフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。IP アドレスは、お使いのコンピュータと同じサブネットに変更することをお勧めします。
3. ユーザ名とパスワードを入力します。  
管理ユーザはデバイスのアカウントおよびユーザ/オペレータの権限を適切に設定する必要があります。必要のないアカウントおよびユーザ/オペレータ権限は削除してください。

### 注意:

管理ユーザがパスワード入力に 7 回失敗するとデバイスの IP アドレスはロックされます (ユーザ/オペレータの場合、5 回)。

4. **[ログイン]**をクリックします。



図 4-1 ログインインターフェイス

5. ライブビデオの表示やカメラの管理を行う前にプラグインをインストールします。プラグインをインストールするにはインストールプロンプトにしたがってください。

### 注意:

プラグインのインストールを完了するために Web ブラウザを閉じなければならない場合があります。

[Please click here to download and install the plug-in. Close the browser when installing the plug-in.](#)

図 4-2 プラグインのダウンロード

6. プラグインをインストールした後で Web ブラウザを再起動し、ステップ 2~4 を繰り返してログインします。

**注意:**

その他の設定の詳細な解説についてはネットワークカメラの使用説明書を参照してください。

## 5 Hik-Connect アプリ経由の操作

---

### 目的:

Hik-Connect は、モバイルデバイス用のアプリケーションです。このアプリでは、カメラのライブ画像の表示、アラーム通知の受信などができます。

### 注意:

Hik-Connect サービスは特定モデルのカメラではサポートされていません。

### 5.1 カメラの Hik-Connect サービス有効化

#### 目的:

Hik-Connect サービスは、サービスを使用する前に、お使いのカメラに対して有効化する必要があります。

SADP ソフトウェア、または Web ブラウザ経由でサービスを有効化することができます。

### 5.1.1 SADP ソフトウェア経由の Hik-Connect サービス有効化

#### 手順:

1. 以下の場所にある[Hik-Connect 有効化]チェックボックスをチェックします:
  - 1). カメラ アクティベーション中の「デバイスのアクティベート」ページ(詳細は 3.2.2 章を参照)。
  - 2). または、IP アドレス変更中の、「ネットワーク パラメータの変更」ページ(詳細は 3.3 章を参照)。
2. 認証コードを作成するか、認証コードを変更してください。

The screenshot shows a 'Tips' dialog box with a red header and a close button. The main text reads: 'To enable Hik-Connect service, you need to create a verification code or change the verification code.' Below this, there are two input fields. The first is labeled 'Verification Code' and contains six dots. To its right, the text says: '6 to 12 letters or numbers, case sensitive. You are recommended to use a combination of no less than 8 letters or numbers.' The second input field is labeled 'Confirm Verification Code' and contains six dots. At the bottom, there is a note: 'The Hik-Connect service will require internet access. Please read the ["Terms of Service"](#) and ["Privacy Policy"](#) before enabling the service.' At the bottom right, there are two buttons: 'Confirm' (red) and 'Cancel' (white).

図 5-1 認証コード設定 (SADP)

### 注意:

認証コードはカメラを Hik-Connect アプリに接続する際に必要になります。

3. クリックして「利用規約」と「プライバシー ポリシー」を確認してください。
4. 設定を確認します。

### 5.1.2 Web ブラウザ経由の Hik-Connect サービス有効化

#### 始める前に:

このサービスを有効化する前に、カメラを有効化する必要があります。3.2 章 を参照してください。

#### 手順:

1. カメラに Web ブラウザ経由でアクセスします。4 章 を参照してください。
2. プラットフォームアクセス設定インターフェイスに入ります:[設定] > [ネットワーク] > [詳細設定] > [プラットフォームアクセス]

The screenshot shows a configuration page for Hik-Connect. At the top, there is a checkbox labeled 'Enable' which is checked. Below it are several fields: 'Platform Access Mode' is a dropdown menu set to 'Hik-Connect'; 'Server IP' is a text input field containing 'dev.hik-connect.com' with a 'Custom' checkbox to its right; 'Register Status' is a dropdown menu set to 'Offline'; and 'Verification Code' is a text input field with six dots and a 'Show/Hide' icon. Below these fields is a note: '6 to 12 letters (a to z, A to Z) or numbers (0 to 9), case sensitive. You are recommended to use'. At the bottom of the form is a red 'Save' button with a floppy disk icon.

図 5-2 プラットフォームアクセスの設定 (Web)

3. プラットフォームアクセスモードとして Hik-Connect を選択します。
4. 有効化のチェックボックスを選択します。
5. クリックして、ポップアップ ウィンドウ上で「利用規約」と「プライバシー ポリシー」を確認してください。
6. カメラの認証コードを作成するか、認証コードを変更してください。

### 注意:

認証コードはカメラを Hik-Connect アプリに接続する際に必要になります。

7. 設定を保存します。

## 5.2 Hik-Connect 設定

### 手順:

1. App Store または Google Play™ で「Hik-Connect」で検索し、Hik-Connect アプリをダウンロードしてインストールします。

2. アプリを起動して、Hik-Connect ユーザーアカウントを登録します。
3. 登録後、Hik-Connect アプリにログインします。

### 5.3 カメラの Hik-Connect への追加

#### 始める前に:

カメラを Hik-Connect アカウントに追加する前に、カメラの Hik-Connect サービスを有効にする必要があります。5.1 章を参照してください。

#### 手順:

1. カメラが Wi-Fi をサポートしていない場合、ネットワークケーブルを利用してカメラをルーターに接続します。

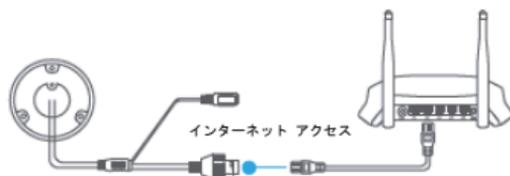


図 5-3 ルーターの接続

#### 注意:

- カメラをネットワークに接続した後、Hik-Connect 上でカメラを操作する前に、1 分間待ってください。
2. Hik-Connect アプリ上で右上隅の「+」をタップし、カメラの QR コードをスキャンしてカメラを追加します。  
QR コードはカメラの上、またはデバイスのパッケージに同梱されているカメラのクイックスタートガイドの表紙にあります。

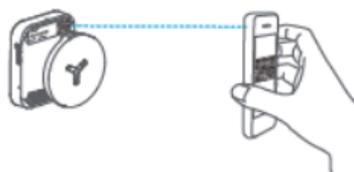


図 5-4 QR コードのスキャン

**注意:**

QR コードが見つからない、または認識できないくらいぼやけている場合、 アイコンをタップしてカメラのシリアル番号を入力することで、カメラを追加できます。

3. カメラの認証コードを入力してください。

**注意:**

- 必要な認証コードはカメラの Hik-Connect サービスを有効化する際にあなたが作成または変更したコードです。
  - 検証コードを忘れてしまった場合は、Web ブラウザから [プラットフォームアクセス] 設定ページを開くことで、現在の認証コードをチェックすることができます。
4. プロンプトにしたがってネットワーク接続を設定し、カメラをあなたの Hik-Connect アカウントに追加してください。

**注意:**

詳細な情報については、Hik-Connect アプリのユーザマニュアルを参照してください。

## 5.4 メモリ カードの初期化

### 手順:

デバイス設定インターフェイスのストレージ ステータスをタップしてメモリ カードのステータスをチェックします。

メモリ カードのステータスが「未初期化」と表示されている場合、タップして初期化します。すると、ステータスが正常に変化します。これで、カメラで、動体検知などのイベントトリガービデオの録画を開始できます。



First Choice for Security Professionals